

## 【港北区】令和5年第3回区づくり推進横浜市会議員会議 議事録

開催日時	令和5年9月5日 午前10時00分 ～ 午前10時50分
場 所	港北区役所 4階 1号・2号会議室
出席者	<p>【座 長】佐藤祐文議員</p> <p>【議員 : 7名】福地茂議員、大山しょうじ議員、白井正子議員、かざまあさみ議員、酒井誠議員、望月康弘議員、大野トモイ議員</p> <p>【港北区：19名】漆原順一区長、卯都木隆幸副区長、北川寛直福祉保健センター長、田畑哲夫福祉保健センター担当部長、奥野雅量土木事務所長 ほか関係職員</p>
議 題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 令和4年度個性ある区づくり推進費の決算について</li> <li>2 令和5年度個性ある区づくり推進費の執行状況について</li> <li>3 令和6年度港北区予算編成の考え方について</li> <li>4 その他</li> </ol> <p>令和5年度個別避難計画（災害時要援護者支援事業）の取組について</p>
発言の 要 旨	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 令和4年度個性ある区づくり推進費の決算について</li> <li>2 令和5年度個性ある区づくり推進費の執行状況について</li> <li>3 令和6年度港北区予算編成の考え方について</li> </ol> <p style="text-align: right;">（1～3 区長・副区長説明）</p> <p>大野議員：</p> <p>地域子育てサポート事業の土曜両親教室について、4年度決算で延べ384人の方に参加いただいたということだが、参加者の性別内訳を教えてください。</p> <p>丸山こども家庭支援課長：</p> <p>現在土曜両親教室参加者の性別内訳資料がないため、確認でき次第御報告する。</p>

大野議員：

地域子育てサポート事業の中の「にんしん・あんしん・つながり」推進事業について、4年度に親と子のつどいの広場を無料で利用できる利用体験券を配布しているが、4,747枚配布して、親と子のつどいの広場を利用した件数は延べ159件と資料にある。これは区の想定と比較して多いのか少ないのか。今後継続的に親と子のつどいの広場を利用してもらうための、きっかけとなっているのか、事業の効果を区としてどう考えているのか伺いたい。

丸山こども家庭支援課長：

利用体験券の交換率が3%ほどしかなく、非常に低いと思っている。配布している利用体験券が何に利用できるのかが、区民に十分に伝わっていないという声も聞いているため、課題を踏まえて、どうしたら分かりやすく伝わるかということを検証し、対応していこうと考えている。

大野議員：

地域子育てサポート事業の中の「保育園等による子育て支援」事業におけるベビーステーション事業は、私も子どもと出かけるときにベビーステーションステッカーを探していて、とてもいい事業だと思っている。ただ、使う側としては、百貨店などのお店や公共施設等は利用しやすいが、保育園は少し使いづらい。利用者がどう利用しているか、ベビーステーション参加施設の施設ごとの利用状況は把握しているのか。

田畑福祉保健センター担当部長：

ベビーステーションについては、新型コロナウイルス感染症の関係で、各施設にあまり働きかけをしていなかった状況であるが、新型コロナウイルス感染症の状況も変わったため、それぞれの施設に状況をお伺いして、今後の方向性を検討していく。

大野議員：

ベビーステーションに参加するための基準はあるのか。

田畑福祉保健センター担当部長：

特に基準はない。最近はベビーステーション参加施設に限らず、親子向けに開放している施設も増えてきているため、今後ベビーステーション事業を更に広げていくのか、現状の形で進めるのが良いのかどうかについては、検討していく。

大野議員：

現在ベビーステーション参加施設が 95 施設ということだが、施設数が十分という考えもあると思うが、もし足りなくて、地域に他にも開放している施設があるのであれば、ベビーステーション参加施設として、実現するよう考えていただきたいと思いついた。

白井議員：

交通安全無事故でカエル事業について、4 年度決算の説明の際にスクールゾーン対策協議会の開催ができず、決算額が減ったという説明があったが、スクールゾーンの路面標示が必要な箇所に設置されていないのではないかと心配している。状況をお伺いしたい。

岸本地域振興課長：

令和 2 年、3 年、4 年はスクールゾーン対策協議会が開催できなかったため、路面標示や電柱巻の要望が少なかった。しかし、本当に安全上必要なものは、地域の方から要望されていると認識している。令和 5 年度については、多くのスクールゾーン対策協議会が開かれているので、問題がある場合については、対応していきたい。

白井議員：

スクールゾーン対策協議会が開催できず、要望が伝えられなかった場所もあるので、区から積極的に要望を聞き出し、これまでできていなかった場所でも設置が進むように、働きかけを行ってほしい。

岸本地域振興課長：

しっかり対応する。

白井議員：

令和6年度の予算編成の考え方において、重点的取組の一番目として、感染症に関する啓発を充実させる、ということ盛り込んでいるが、令和5年度執行状況の12ページに記載の快適な暮らしの衛生応援事業における食中毒感染症防止対策事業では、感染症予防啓発を推進すると記載している。新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類に変更になったが、現在、第8波と同じぐらいの感染状況がまだ続いている。新型コロナウイルス感染症の情報提供や啓発がもっと必要と考えるが、予算の中で新型コロナウイルス感染症の啓発や情報提供をどう盛り込んでいるのか伺いたい。

北川福祉保健センター長：

新型コロナウイルス感染症は5類に変更されたため、啓発が難しいところである。ただし、予算は計上していないが、保育園や高齢者施設などの施設に対して、引き続き、指導を実施している。加えて、保育園は新型コロナウイルス感染症が5類に変更された頃の時期から、感染性胃腸炎やヘルパンギーナなどの感染症が非常に増えており、新型コロナウイルス感染症だけではなく、他の感染症も含め指導や啓発を実施している。また、今後、他にも対応できることがないか検討している。

白井議員：

私が見ている中では、情報提供を本当に目にしないようになっていく。現在、これだけ感染が増えている状況を捉えて、どう対応していくのかを検討してもらいたい。

福地議員：

マイナンバーカードの交付状況について教示願いたい。また、戸籍課案内サービス向上事業において、窓口対策で繁忙期に合わせた分散利用も予算化しているが、新横浜の出張所の利用状況も含めて説明してもらいたい。

二宮課長：

令和5年7月末現在の港北区のマイナンバーカードの交付枚数は25万7,924枚で、港北区の人口の73.3%になっている。交付枚数から死亡・

有効期限切れなどで廃止されたカード枚数を除いた保有枚数は8月7日時点で24万6,460枚であり、人口の70.7%になっている。カードの交付については原則、事前に予約をいただいて交付をしているが、予約枠等に空きがある場合は、予約がなくてもカードの交付に対応しており、区民の皆様がカードを受け取りやすい環境作りに努めている。また、広報よこはまやホームページを利用して早めの受け取りを呼び掛けている。

新横浜の臨時窓口については、交付済カードの約20%を交付している。引き続きマイナンバーカードの円滑交付を行っていききたい。

福地議員：

予約をしなくても何かのついでに寄ったら交付してもらえたという喜びの声も聞いており、ぜひ引き続き頑張ってもらいたい。

大山議員：

芸術祭実行委員会の主催事業など公会堂でチケットを売っているが、その基準はあるのか。また、手数料について伺いたい。

岸本地域振興課長：

区役所3階にあった売店でこれまでチケットの販売を行っていたが、売店が閉店したため、区役所近辺にある公会堂で販売をお願いしている。基本的に公会堂で実施される区役所の主催事業や芸術祭実行委員会の主催事業などについては、公会堂でチケットを販売している。手数料については、支払っているが、金額については資料が手元にない。

大山議員：

区の後援事業で、公会堂を使うイベントについて、集客に苦労しているという話を聞いている。主催者が手数料を支払っても構わないということで、また、指定管理者も問題なければ、公会堂でチケットを取り扱うことはできないのか

岸本地域振興課長：

検討する。

	<p>佐藤議員：</p> <p>議題4 その他について、事務局から説明を求める。</p> <p>4 その他</p> <p>令和5年度個別避難計画（災害時要援護者支援事業）の取組について（高齢・障害支援課長）</p>
備 考	